

●国際ロータリーテーマ

R I 第2650地区 鯖江ロータリークラブ

創立1959年10月2日 承認1959年10月4日

http://sabaerotary.com/



SABAE ROTARY CLUB

●クラブ活動方針

2015.7-2016.6

塩梅よく

会長 小部 隆充
幹事 大橋 良史

●本日の例会

●R I 第2650地区スローガン

『クラブに「個性」と「憧れ」を!』

点 鐘 12:30~

四つのテスト

ロータリーソング斉唱

会長の時間

幹事報告等

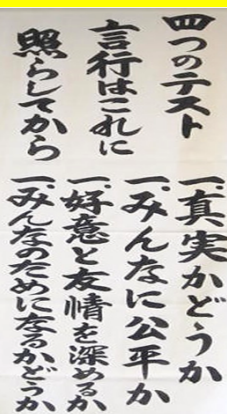
●第2739回 平成28年1月22日(金)

卓話 ネイル×インナービューティーサロン 山口美和様
milky nail オーナー

テーマ お爪とお食事から見る心と体のお話

▼第2738回例会報告 平成28年1月15日(金) ▼鯖江商工会館 3階中ホール 出席率 73.3%

四つのテスト



それでこそロータリー

佐野 直美 ソングリーダー



ベネファクター認証書、ポール・ハリス・フェロー認証バッジ授与

(右目下村義孝氏に授与
2回・清水左三氏に授与
回目・会員弘)

結婚・誕生祝

勤続表彰



お客様の紹介と会長の時間



小部 隆充 会長

本日のお客様。(公社)鯖江青年会議所、直前理事長、窪田康宏様(右下写真)。直前会長の子息で、(株)窪田プラスチック、代表取締役。後ほど卓話をお願いします。

続いて、申年のサルのお話。

サルは、日本人に昔からなじみ深い動物。様々な伝承、ことわざ、童話等に登場する。



日本語のサルは、ニホンザルのこと。サルと一口に言っても世界に370種以上もいる。熱帯雨林で進化し、多様化したとされるサルの仲間は、寒さに弱いものが多い。

ニホンザルは、最も高緯度の寒い地域に生息。「北限のサル」と呼ばれる青森県下北半島を始め、積雪のある地域にも生息。英語で「スノーモンキー」と呼ばれることもある。なぜ、ニホンザルは、寒いところで生活できるのか。

その理由は、体形。オナガザル科に分類されるが、例外的に尻尾が短い。63~43万年前に大陸から渡ってきた祖先が、徐々に寒冷適応を進めていった結果。尻尾等の細長い体の末端部分が小さくなることで、体熱が失われるのを防ぐ。寒い所に住むものほど、尻尾が短くなる。

他に、寒い所では体が大きくなる傾向がある。分布南限の鹿児島県屋久島では、体重が6~13kg。北限下北半島では8~18kg。冬の気温が低く雪の多い地域は、餌が少量。体格を大きくして、秋に脂肪を多く蓄え、冬を乗り切る。

サルは賢い動物。それなりに進化していると思う。

幹事報告



先日の新年家族例会にご参加ありがとうございました。勝山左義長保存会の皆様の笑顔が素敵でした。私も見習いたい。

◆例会終了後理事会を開催する。理事、役員の方、集合願いたい。

◆地区大会の申込み期日が迫っている。

大橋 良史 幹事 出欠を返事願いたい。

◆木村英富会員より、鯖江郷土史懇談会の会誌を配布願った。事務局にある。お目通し願いたい。

ニコニコBOX報告

(敬称略・順不同)

- | | |
|---------|---------|
| 1 大橋 良史 | 4 岡本 圭子 |
| 1 田村 康夫 | 4 酒井 雅憲 |
| 2 窪田 健一 | 4 吉田 俊博 |
| 3 木村 英富 | 5 佐野 直美 |

1: 本年もよろしくおねがいします。

窪田様の卓話に期待して

2: 息子の卓話に期待して

3: 結婚・誕生祝ありがとうございました

4: 誕生祝を頂いて。卓話に期待して

5: 勤続表彰頂いて。今後も全力で励みます。卓話に期待して



卓 話 (公社)鯖江青年会議所 窪田 康宏 様 直前理事長 テーマ 青年会議所とは・・・



鯖江青年会議所(以下、鯖江JC)は、このまちに対するまちづくり事業と、これからの未来を担う子供達に、よい影響を与える青少年育成事業、会員の資質向上のための会員研修事業、そして会員拡大事業の4つを展開している。私は、北信越地区協議会で、地区フォーラム委員会に所属。この地域を輝かせることで、日本をよくし世界をよくしようと、活動の一翼を担ってきた。2015年、理事長を仰せつかった。今から、JCの「魅力」「学び」「気づき」の3つについて、説明したい。

■JCの魅力

JCの目的は、「明るい豊かな社会」の実現。世界のJCでは、「世界の恒久的な平和」。日本に697LOM(会員会議所)。正会員、36,000人が所属し活動。世界では、117国に存在し、4,780LOMあり、約162,000人が所属。これだけの人が、世界の恒久的な平和と自分たちの住む地域と暮らしを豊かにする為に、日々運動を展開。そのために、JCが何をしてきたのか？できたのか？紹介する。

2014年度、東日本大震災から3年が経過。震災に対する意識が、少し薄れてきた。そんな時に、災害復興支援委員会のメンバーが、災害当時の人々との絆の強さ、諦めない事の大切さを思い起こし、未来を信じて希望を持って行動を起こす事、それをみんなで共有し続ける事ができる土壌を創りたいと考え、事業を創った。

その事業は、未来をつなぐプロジェクト事業。May J. という歌手に歌を歌ってもらう事業。最初から、エイベックスレーベル等のつながりもなく、当然、音楽のプロデューサーとのつながりもない。一生懸命、提案書を作り、周りを巻き込んで、体当たりでぶつかった。その事業を構築する中で、会う人に自分の思いが伝わらず悔し涙を流した。また、伝えるための企画書、ちゃんとした身なり、言葉遣い、説得するためのプレゼンテーション等考え、実行。

その結果、May J. さんというメジャーな歌手が出てきてくれ、福島の子供達といっしょに歌を創る事ができた。この歌は、いつもJCの催しの際にかかっている。各地の事業の際、子供達を巻き込んで歌っている。オリンピックに向けて、歌って未来へのメッセージとしたい。この歌を創って地域が良くなかった、という、正直、判らない。しかし、その想いは伝わって行くと思う。

私達JCの目指すところは、いつでもどこでも「未来のため」「地域のため」、活動している。鯖江市と越前町が活動エリアである、我々の活動を紹介する。

まちづくり事業。9月に日野川で開催する、さばえ秋HANABI。目的は、市民の想いを花火に添え、心温まる花火大会を作る事。岸和田のだんじりのように、この地域に住み暮らす人々が、気持ちを一つに重ねて、この祭りを作り上げる事で、地域に対する想い、郷土愛を育む事。その一環で、地域の子供を巻き込み、まなべの館で手形HANABIという形で、まちに発信した。現在は、JCの手を離れ、主体的な市民の方々が運営している。



その他のまちづくり事業は、鯖江自主制作映画祭、西山公園夜間

ライブ、災害フォーラム。このまちの未来を考えて、今、何ができるのか考えている。2015年は、この地域の魅力を感じてもらうために、スタンプラリーを実施。

ひとづくり、青少年育成事業。未来を担う鯖江市、越前町の子供達、新たな気づき、未来を変える力になってもらいたい、という願いのもとに様々な事業を実施。

2泊3日で、地域の宝をめぐりながら、河和田から越前町、西山公園まで、色々見ながらウォークラリーを実施。小学4～6年生が、83kmを諦めず歩き通してくれた。地域の宝を1つ1つ味わったので、これらを心に抱きながら、これから福井で活躍してくれることを期待している。他に諦めない心を養い育む、富士山登山事業等を実施。

研修事業は、体当たり例会で視、精神修養で自衛隊入隊、力を合わせて大きい雪だるま作成、一步一步前に進めば必ず頂上にたどり着く・登れない山はない事を実感する白山登山、人前でどうしたら話せるようになるか・事業構築やマネジメント方法等のスキルアップ研修等を実施。毎年、将来どうしたらこの地域が良くなるのかを考えて、研修内容を体系的に構築している。

そして、災害が発生した時、鯖江JCは、ボランティアセンターのセンター長になるという役割がある。ナホトカ号の重油災害が起きた時から、歴代の先輩が色々な災害の際のボランティア活動を見て、実践して来た。それらを通し、災害が起きた時、真っ先に駆けつけ、自分たちは何ができるのか、何をするとよいのかを考え、実行している。

国際交流で、昨年、2015年世界会議金沢大会が、1週間開催された。同地区で、隣の金沢であり、鯖江JCは副主管した。その参加者をもてなすウエルカムナイトでブースを設け、「やまうに」と「地酒」の食を通して、鯖江の産業等の魅力を発信した。

世界117国の代表による総会は、国益を考えた発言が中心。国際的な場では、各国が持っている経済力、人材等、色々な事を考えながら話し合った。とても印象に残った。

他にセミナーやパーティ等、世界と交流でき、抱えている問題が分かった。そして、世界とつながる事は、地域の発展に結びつく、と思った機会にもなった。

活動分野がJCには沢山ある。JCでつかむ4つの機会は、個人・地域社会・国際性・ビジネスの機会。但し、この機は、Chanceではなく Opportunity。入会しただけでは機会は来ない。積極的に参加し、自らつかまえるもの。

■JCの学び

皆が堅く信じ守る三信条。修練：Leadership Training。日本的な修養、スキルアップではない。奉仕：よりよい変化をもたらす力を若者に与えるための発展と成長の機会を提供する事。ボランティアではない。友情：会員同士、世界平和へとつながる友情。

■JCの気づき

JCがある人生とは、たかがJC、されどJC。入会したくて入った人は少ない。でも、今は楽しくここに居る。皆がこだわった分だけ「されど」が増す。大人の学校なので、思い切ってチャレンジでき、失敗も許される。こだわった分だけ、卒業してからの人生、「質」「幅」が変わる。

自分の周りの「子供達」「親」「会社」「暮らすまち」等のために活動することは、明るい豊かな「自分/人生」づくりでもある。

